

現在までの長期モニタリング項目の主要な見直し状況

長期モニタリング計画とその見直しに係る背景・経緯

■計画の位置づけ

- ・目的：知床世界自然遺産地域における順応的な管理を効率的・効果的に実施するために必要となるモニタリング項目とその内容を定めています。
- ・2012（平成24）年2月策定し、2015（平成27）年2月に評価基準等を一部変更しました。
- ・計画期間は10年一期です。概ね5年毎に計画の継続・変更について検討を行うこととしています。

第1期：2012（平成24）年4月～2022（平成34）年3月

■見直しの位置づけ

- ・計画策定から5年が経過したことから、計画の変更について検討を行いました。

■見直しの進め方

- ・2017（平成29）年度及び2018（平成30）年度の2カ年で見直しを行いました。（科学委員会及び各WG等での議論のほか、適宜ML等を活用し計画的に検討しました。）
- ・平成29年度にこれまでの各モニタリング項目の実施結果の整理と評価を行いました。「中間総括評価」を実施しました。
→モニタリング項目の追加・削除、評価基準等の変更を各WG等で実施しました。
- ・各モニタリング項目の見直しとともに、計画本文の見直しを実施しました。

<2017年（平成29）年度>

- 第1回科学委員会 計画の見直しの進め方等
- 第2回科学委員会 各モニタリング項目の中間総括
各項目において見直しが必要な箇所の抽出等

<2018年（平成30）年度>

- 第1回科学委員会 見直し状況の確認・共有
- 第2回科学委員会 計画本体を含む変更案の検討
→改訂